



島川 崇 (第19期)

神奈川大学国際日本学部国際文化交流学科観光文化コース教授

日本国際観光学会会長

39期の皆さん、卒塾おめでとうございます。皆さんとは審査会の審査員としてご一緒させて頂きました。その際、今思い出してみても政経塾の塾の期間は失敗してもいい、そういう風なことを言ったと思います。大いに失敗して、それで多くのことを学んで欲しいという風に私もその時にみんなにメッセージとして出しました。

でも私も人生を振り返ってみて、政経塾を卒塾しても人生において全ての期間でもそれでも失敗してもいいんじゃないのかなってなんか最近思うようになりました。

失敗を恐れて小さくまとまって生きていくよりもリスクを持ちながら道なき道を進んでいった方がいいようになんか最近そのような感じがします。

そして、もし皆さんが何らかの組織でトップに立ったり権力を握ったとしたら、その権力を自分の失敗の隠蔽のために行使するような人間にだけはなって欲しくない。

政治においても経営においてもそのような人が最近多くなってきているような気がします。上がそういう行動をとると必ず下は真似します。そしてその組織は腐って国が腐っていきます。そうならないように皆さんはそれぞれの持ち場で失敗を恐れず先駆開拓できる人間であって欲しいと私は願っています。

卒塾おめでとうございます。